

第1回 横浜市精神障害者生活支援センター指定管理者選定評価委員会会議録	
日 時	令和6年9月20日(金) 13時30分～19時20分
開 催 場 所	1 栄区精神障害者生活支援センター 2 鶴見区精神障害者生活支援センター
出 席 者	伊東委員、池田委員、田中委員、西川委員、平濱委員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開(傍聴者0人)
議 題	<p>1 議事(選定評価委員会について)</p> <p>(1) 会議の公開について</p> <p>(2) 委員会の実施について</p> <p>(3) ヒアリングについて</p> <p>2 議事(栄区精神障害者生活支援センター)</p> <p>(1) 施設職員・委員自己紹介</p> <p>(2) 施設見学</p> <p>(3) 施設概要等説明</p> <p>(4) 書類確認及びヒアリング</p> <p>(5) 評価の審議</p> <p>3 議事(鶴見区精神障害者生活支援センター)</p> <p>(1) 施設職員・委員自己紹介</p> <p>(2) 施設見学</p> <p>(3) 施設概要等説明</p> <p>(4) 書類確認及びヒアリング</p> <p>(5) 評価の審議</p> <p>4 その他</p>
決 定 事 項	なし
議 事 (栄区)	<p><b>【主な質疑内容】</b></p> <p>委 員：カウンセリングについて教えていただきたい。</p> <p>指定管理者：日本カウンセリング協会の方が行っている。話を聞く中で、職員と違った視点で話をしていて、職員へのフィードバックをしてもらっている。1人につき30分程度。平均して日に2人程度実施している。</p> <p>委 員：嘱託医相談の件数が多い理由はなにか。</p> <p>指定管理者：市大センター病院の医師に来てもらい、新しい方を優先して相談を組んでいる。知的障害者(少し精神もある)に対応している職員にも話が聞けるようにしている。</p> <p>委 員：電話相談の件数が増えている理由はなにか。</p>

指定管理者：コロナによって来所ができず電話相談が増えた背景がある。そのまま電話でつながっていればよいという考えが利用者にあるのかと思う。また、センター内及び周囲は禁煙エリアであることも理由のひとつと考える。

委員：常勤1名の欠員について大丈夫か。

指定管理者：10月に男性職員が欠員補充される予定。異動は3～5年。いろんな事業所を転々とする。法人全体の研修と事業所での研修を受けて自己研鑽を図っている。

委員：固定の利用者だけか？

指定管理者：固定ももちろんいるが、時々来る利用者もいる。また、ホワイトボードに書いていることは利用者ミーティングまでとって、みんなの目にさらすようにしている。

委員：担当をケアプラザごとにしたのはいつごろからか。

指定管理者：2年くらい前。ケアプラザのエリアでの定例会や勉強会への参加も昔より増えてきている。

委員：発達障害の方への対応はどのようにしているか。

指定管理者：職員で分担して研修に参加し情報共有している。発達障害者支援センターとつながって情報共有等している。

委員：事故やBCPについて訓練はやっているのか？

指定管理者：今までやってはいなかったが、災害を想定して訓練を行う予定である。感染対策研修は法人内で行われたものをフィードバックするとともに、個別に対応していく。福祉避難場所の担当でもあるので、そのときに応じて流れも変わってくると思う。

委員：福祉避難場所としての考え方とか課題について教えていただきたい。

指定管理者：福祉避難場所でもすべて受け入れるわけではなく、区役所からの問い合わせやそのときの状況に応じて動く形である。先日行われた福祉避難場所の連絡会で能登半島地震の対応をされた方の話を聞いたが、想定していたように機能しなかったということだったので、現実的には動けないのではと思う。

委員：ピアスタッフの雇用についてどのように考えているか。

指定管理者：検討はしているが、法人全体での話になるのでまだ結論が出ていない。

委員：利用者アンケートの公表は行っているのか。

指定管理者：インターネットでの公表はしていない。センター内でホワイトボードに大きく掲示するのみである。

委員：3機関連携について、何ができていれば強化されているかと考えるのか。

指定管理者：次に何をしていくか、事例を提供して経過、振り返りを行い、課題を見つけていく。それをみなで共有しまた日々の業務に生かしていくことで連

	<p>携強化が出来ていると考える。</p> <p>委員：家族会はどのぐらいの頻度で実施しているか。</p> <p>指定管理者：月1回、50か所で集まってやっている。家族会からのアプローチで研修等を実施している。今後、家族会と地域課題の事例検討する予定である。</p> <p>委員：利用者の高齢化が進む中で、今後の食事についてどのように考えているか教えていただきたい。</p> <p>指定管理者：ペースト食のような手の込んだ食事は生活支援センターではなく、配食サービスにつなげたいと考えている。また栄区では食事は重要と考えている。単身者が多いことや仕事が終わった後にみんなと話してという形が出来ていることもあり、今後まだ増えていくのではないかと思う。40名くらいまでは工夫次第で提供可能。</p>
<p>議 事 (鶴見区)</p>	<p>委員：Wi-Fiを導入した効果について教えていただきたい。</p> <p>指定管理者：効果は出ていると思う。またインターネット利用は確実に減った。細かいお金の計算が必要なくなった。</p> <p>委員：引きこもりは対象が拡大している中で、どのように支援しているか。</p> <p>指定管理者：区役所に近隣から相談が入る形である。親御さんが亡くなった後、訪問看護等との他職種と連携をしながら支援している。</p> <p>委員：特定相談支援事業について、スタッフの過労働や意識の差は生まれていないのか。</p> <p>指定管理者：兼務なので大変なのは確かである。指導職が話を聞くなどのフォローをしている。また、課外研修の実施、働く人としてどういう考えが必要かといった気持ちを吐き出す場、リフレッシュする場を設けている。効果が出てきており、離職はあるが、ステップアップ（独立）や異動によるものがほとんどである。</p> <p>委員：苦情について、掲載内容の判断はどのようにするのか。</p> <p>指定管理者：個人が特定できてしまうものについては公開しない。</p> <p>委員：福祉避難所として、実際に災害が起きたときの対応について教えてほしい。</p> <p>指定管理者：職員が誰もたどり着かないのでは？という危惧は持っている。法人としては「行けるところに行く」形で災害対応を検討している。</p> <p>委員：嘱託医相談の件数が少ない原因はなにか。今後についての検討はしているか。</p> <p>指定管理者：関係機関の相談も行っている。予約はあるがドタキャンされることが多い。また嘱託医の方が、診療時間の合間を縫って嘱託医相談を実施しているため、相談者との都合が合わないことも見られる。「嘱託医相談」というものがあまり浸透していないので。呼称を変えた周知（キャンペーン）が必要なかもしれない。</p>

	<p>委員：夕食サービスについて、負担はあるのか。</p> <p>指定管理者：ほぼ希望どおりの提供はできているが、パートの確保が課題であり、夕食サービスを他の福祉サービスに委ねることができるのではないかと考えている。</p> <p>委員：夕食サービスのメリットはなにか。</p> <p>指定管理者：利用者の状況をすぐにキャッチできることだが、アウトリーチでも対応できることかと思う。</p> <p>委員：電話相談、面談、訪問・同行の件数バランスはどう考えているか。</p> <p>指定管理者：電話相談はほぼ同じ方であり1件が1時間程度。実人数でいうと50名程度である。電話でキャッチして訪問・アウトリーチにつなげる。</p> <p>委員：家族会との関係はどうか。</p> <p>指定管理者：一緒に企画を考えたり、カフェをやってみようかと色々な事業展開をしていたが、今は家族会の方々に任せている。</p> <p>委員：地域との連携はどのように図っているか。</p> <p>指定管理者：今年度、鶴見大に声掛けを行い、連携を図ろうとしたがダメだった。鶴見大は企業と連携をしているので、その中に業界として参入していくことで、顔を知り連携を図っていきたい。</p>
<p>資料</p> <p>・</p> <p>特記事項</p>	<p>1 資料</p> <p>(1) 横浜市精神障害者生活支援センター指定管理者選定評価委員会委員名簿</p> <p>(2) ヒアリング時役割分担</p> <p>(3) 横浜市精神障害者生活支援センター評価総括表</p> <p>(4) 当日準備資料一覧</p> <p>(5) 横浜市栄区精神障害者生活支援センター事前提出資料</p> <p>(6) 横浜市鶴見区精神障害者生活支援センター事前提出資料</p> <p>2 特記事項</p> <p>なし</p>